

株式会社 ファミリーマート 御中

タイ王国
子どもの水の事故防止のための教育推進事業

第3四半期報告書(2018年3月～2018年5月)



2018年7月
公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン



1. 事業概要

事業名	子どもの水の事故防止のための教育推進事業
対象国・地域	タイ王国 バンコク都
事業期間	2017年9月1日～2018年8月31日
報告期間	2018年3月1日～2018年5月31日
予算	25,561,077円
受益者	直接裨益者:300人(生徒250人、教師およびボランティア50人) 間接裨益者:5,000人
事業目的	水の事故防止に関する啓発・学習教材を開発し普及させ、また、子どもたちが水難に備えた泳法を習得する

2. 活動進捗

当四半期は、事業対象校の担当者とともに具体的な活動計画について協議や調整を行い、続いて、教師に対する泳法訓練の指導者研修、そして子どもたちに対する泳法訓練の講習会を実施しました。

活動 1. ピア・モデリング手法¹や大人による適切なサポート、子どもにとって親しみやすい活動を通じて、小学生、保護者、そして地域社会に対して、子どもの水の事故防止のための啓発活動を行う

1.1 子どもの水の事故防止のための絵画と物語づくり

この活動は、水の事故防止と学校安全²について、指導者研修(ToT)を通して、教師が絵画と物語づくりの方法で子どもたちに教えられるようになることを目的としています。教師が、水難に備えた泳法や水上安全に関連する知識についてのメッセージを、タイ語や美術などの授業に取り入れることができるように、6月には事業対象校5校の教師に対し2日間のToTを実施する予定です。研修終了後、教師は啓発活動を実施したり、また、水の事故防止のための知識をどのように広げていくことができるかを検討していきます。

1.2 生徒に対する、水の事故防止と学校安全のための学習の実施

この活動は、子どもにとって親しみやすい教材の開発と物語づくり、絵画の活動を通して、子どもたちの水上安全と水の事故防止、学校安全についての意識、知識と理解を向上させることを目的としています。この活動は上記1.1の終了後、7月上旬から5週間にわたって実施される予定です。

¹ ロールモデルとなる他の生徒の行動などから学ぶ手法。

² 学校内外において子どもたちが安全・安心に生活できる環境づくりを指し、具体的な方策として、安全な学習施設の整備や学校における災害管理、防災教育などが含まれます。

活動 2. 小学生に、水資源から身の安全を守る方法を教授する

2.1 教師に対する、水難に備えた泳法の ToT

タイ・ライフセービング協会(Thai Life Saving Society :TLSS)の協力を得て、3月14日から16日にかけて教師に対する ToT を実施し、事業対象校から合計 26 人(女性 12 人、男性 14 人)の教師が参加しました。この研修は、教師が水上安全や水難に備えた泳法、救助法などを子どもたちに教えられるようになることを目的としており、心肺蘇生法、救命ジャケットの着用方法、ロープや水に浮くものを使った救助方法、さらに水の中で救助を待っている間の姿勢も含めた泳ぎ方などについて学びました。研修を受けた教師は、下記 2.2 の、生徒に対する泳法訓練において、トレーナーのサポートを行いました。

2.2 生徒に対する、水難に備えた泳法訓練の実施

バンコク都教育サービス地域局の合意のもと、事業対象校 5 校の子どもたちに対し、合計 18 時間の水難に備えた泳法訓練を、3 月から 5 月にかけて実施しました。3 校に対しては 3 日間の講習会、残り 2 校に対しては 6 週間にわたるコースを実施し、合計 400 人の子どもが参加しました。

3 日間の講習会(Anuban Wat Parinayok 小学校、Wat Sommanas 小学校、Rachawinit 小学校)

下表の概要の通り、プールが設置されている Rachawinit 小学校にて子どもたちに対する泳法訓練を行いました。参加人数の関係上、Anuban Wat Parinayok 小学校と Wat Sommanas 小学校の 2 校は合同で、Rachawinit 小学校は単独で講習会を実施しました。研修を受けた Rachawinit 小学校の教師は、両方の講習会において子どもたちの泳法訓練をサポートしました。

	第 1 回	第 2 回
期間	3 月 19-21 日の 3 日間(各日 6 時間)	3 月 26-28 日の 3 日間(各日 6 時間)
参加校	Anuban Wat Parinayok 小学校 Wat Sommanas 小学校	Rachawinit 小学校
参加者数	4、5、6 年生の 45 人 (女児 27 人、男児 18 人)	4、5、6 年生の 67 人 (女児 21 人、男児 46 人)

講習会の内容は、以下の通りです：

1 日目：【講習】水の事故の問題について

【実技】ロープや水に浮くものを使った救助訓練、救命ジャケットの着用方法、心肺蘇生法

2 日目：【実技】水難に備えた泳法訓練

3 日目：【実技】水難に備えた泳法訓練

この講習会の実施にあたっては、教師たちがセーブ・ザ・チルドレンのスタッフの協力を得ながら計画を立てました。また、各日の終わりに、教師がその日の振り返りとまとめを行いました。講習会を見学に来た保護者からは、「子どもを水の事故から守るために、とてもよい活動だと思います」という声が聞かれました。

6 週間のコース(Watwetawanthummawat 小学校、Dipangkornwittayapat 小学校)

その他の2校(Watwetawanthummawat 小学校、Dipangkornwittayapat 小学校)は、連続した終日の講習会ではなく、各日短時間、かつより多くの日数に分けてスケジュールを組み、活動を実施しました。

	Watwetawanthummawat 少学校	Dipangkornwittayapat 少学校
期間	5月22日からの毎週1日 x6週(各日3時間)	5月24日からの毎週1日 x6週(各日3時間)
参加者数	6年生の230人(女児105人、男児125人)	4、5、6年生の58人(女児24人、男児34人)

※“Dipangkornwittayapat 少学校”は、第二四半期報告書では“Thipangkornwittayapat 少学校”と表記。第二四半期報告書の表記が誤りで、正しくは“Dipangkornwittayapat 少学校”。

<参加した生徒の声>

“ロープと袋を使った救助訓練は、役に立つと思いました。来週、お母さんと海に行くのですが、万が一溺れている人がいた時のために、ロープを持って行くようにします”

“泳ぐことは好きなのですが、これまで水に浮くことはできませんでした。でもこの講習会で、先生が丁寧に水の中での浮き方を教えてくれました”

“私はお母さんに、この講習会は集中してしっかりと受けるようにと言われました。泳げるようになったら、溺れる事故を防ぐことができると思います”

“私の通う学校にはプールがないので、これまで泳ぎ方を教わったことはありませんでした。プールを使っての初めての講習なので、とても楽しく受けることができます”



“溺れかけている人を見た時にとるべき行動についての講習が、とても楽しかったです。まず、大きな声で周囲に助けを求めます。同時に、溺れかけている人に対しては、「大丈夫、すぐ助けが来ます」と伝えるのです。今日学んだことを、実践できるようにしたいです”

タナポンさん(仮名)(10歳)—Watwetawanthummawat 小学校

活動 3. タイにおける水の事故防止のための対策を推進する

3.1 水の事故防止と学校安全に関する IEC (Information Education Communication = 情報・教育・コミュニケーション) 教材の制作および普及

教師の防災に関する知識を向上させること、ひいては学習環境における子どもの安全を向上させることを目指して、4月に、セーブ・ザ・チルドレンがタイ国内で実施する交通安全事業、防災事業と本事業の3つの事業が合同で、「子どもの安全について学ぶ参加型ワークショップ」を実施しました。2日間のワークショップには事業対象校5校の25人の教師が参加し、自然災害とリスク・アセスメント、安全な環境とインフラ設備、教育環境における災害管理、防災教育などについて学びました。

3.2 事業振り返りワークショップおよび展示会 (ギャラリーウォーク) の実施

この活動は、8月に実施される予定です。

3.3 水の事故防止のための“Alert Little Tun”アニメーションの制作

Thai PBS (タイの公共テレビ局) の協力により、1月6日から3月31日の期間、先行事業で作成した“Alert Little Tun”が番組“Kid’s Club”の中で放映されました。そのアニメーションを見た教師、子ども、保護者や、子どもの安全推進・傷害予防研究センター (CSIP)、病院、非感染症疾患局 (Bureau of Non-Communicable Disease) などの関係者からの意見を踏まえ、セーブ・ザ・チルドレンは、新たに13の水の事故予防のためのエピソードを作成することにしました。

エピソードの作成については、Ramathibodi 病院小児科医でもある CSIP センター長が参加する予定です。毎年5歳以下の子ども400人以上が水の事故で亡くなるという事実に基づき、新しいエピソードは、幼児期の子どもとその保護者に重点を置いた内容にする予定です。

3.4 OBEC とのアドボカシー (水上の安全ガイドラインの作成)

タイ教育省基礎教育局 (Office of the Basic Education Commission: OBEC) および学校活動開発局と、事業の進捗について共有するための打ち合わせを次四半期に計画しています。この打ち合わせには、セーブ・ザ・チルドレンが実施している交通安全事業で協力を得ているバンコク都教育サービス局も参加する予定です。

3. 今後の活動予定

活動	2017				2018							
	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8
Objective 1: ピア・モデリング手法や大人による適切なサポート、子どもにとって親しみやすい活動を通じて、小学生、保護者、そして地域社会に対して、子どもの水の事故防止のための啓発活動を行う												
1.1 子どもの水の事故防止のための絵画と物語づくり												
1.1.1 水の事故防止と学校安全に関する IEC(情報・教育・コミュニケーション)教材開発の ToT												
1.1.2 水の事故防止と学校安全に関する物語づくりと絵画の活動の ToT												
1.2 生徒に対する、水の事故防止と学校安全のための学習の実施												
1.2.1 水の事故防止と学校安全のための、子どもにとって親しみやすい学習教材開発												
1.2.2 水の事故防止と学校安全のための物語づくりと絵画の活動の研修												
Objective 2: 小学生に、水資源から身の安全を守る方法を教授する												
2.1 教師に対する、水難に備えた泳法の ToT												
2.1.1 対象校選定、対象 5 校における、事業開始のためのオリエンテーション												
2.1.2 教師に対する、水難に備えた泳法の ToT の実施												
2.2 生徒に対する、水難に備えた泳法訓練の実施												
生徒に対する、水難に備えた泳法訓練の実施												
Objective 3: タイにおける水の事故防止のための対策を推進する												
3.1 水の事故防止と学校安全に関する IEC 教材の制作および普及												
3.2 事業振り返りワークショップおよび展示会(ギャラリーウォーク)の実施												
3.3 水の事故防止のための“Alert Little Tun”アニメーションの作成												
3.4 OBEC とのアドボカシー(水上の安全ガイドラインの作成)												

4. 活動写真



教師に対する研修の初日(2018年3月14日)



心肺蘇生法について研修を受ける教師(2018年3月14日)



ロープを使った救助方法を学ぶ教師(2018年3月14日)



“Alert Little Tun”のビデオを観て、水の事故防止について学ぶ子どもたち(2018年3月19日)



心肺蘇生法を学ぶ子どもたち(2018年3月21日)



救命ジャケットの着用方法を学ぶ子どもたち(2018年3月26日)



水の中で救助を待っている間の適切な姿勢を学ぶ子どもたち(2018年3月28日)



ロープとプラスチック製の水タンクを使って、溺れかけている人を水の中から救助する方法を学ぶ(2018年3月28日)



救命ジャケットを着用して泳ぐ様子(2018年3月28日)



自分たちの行動範囲内にある水の事故のリスクについて話し合う子どもたち(2018年3月22日)



ロープを遠くまで投げるコツを学ぶ子どもたち(2018年3月23日)